

■ 展示趣旨

映像生物学の実験室 —— 映像の時空間を博物館にかさねる

20世紀は映像の世紀であったといわれる。19世紀以降、写真、映画、テレビ、インターネットが生まれ、視覚情報の生産と流通は劇的に増大した。社会の出来事や物語がおびただしい映像断片に記録され、世界は映像を介して理解される対象になっている。対して、博物館はもっぱら標本資料の収集蓄積によって世界を記録してきた。モノの世界である博物館において、映像はそもそも疎遠な対象であるか、補助的な演出術と見なされがちである。しかし、宇宙規模に拡大する事象を記録する手段として、また近代以降の人間活動の研究対象そのものとして、映像は極めて重要なメディアである。すなわち、映像技術を活用した博物学と、映像自体から世界を探索する博物学がともに立てられるべきである。これらまとめて「映像博物学」と呼ぶことにしよう。

近代博物学が目指したのが、世界の諸物の分類表（タブロー）を築くことであるならば、映像博物学が志向するのは、それら諸物の動的な関係網（ネットワーク）を示すことである。対象から切り捨てられる時空間を映像によって再現＝代行し、「人間と世界」の多様な関係性を問い直すことに期待がかかる。すなわち、映像博物学は、「人間が世界を見る」という知の根底を映像によって再編する試みである。世界の事象を映像資源として蓄積し、人間がそれと向き合う時空間の仕組を設営することが求められる。

本展示では、総合研究博物館小石川分館という類まれな建築空間を舞台として、映像生物学の実験展示を試みる。研究者・学芸員・学生や映像作家らによって制作されたさまざまな映像は、ひとつのスクリーンで集約上映されるのではなく、建築空間の随所に形を変えて埋め込まれる。「驚異の部屋」を企図した既存の展示空間において、映像は標本資料と共存しつつ、並置・重層・代替・包含・透過・反射などの効果を生み出し、時に内部空間を飛び出して外部環境に結露する。本展示は、映像の時空間を重ね合わせることで新たな博物空間を創出するささやかな試みである。

松本文夫（東京大学総合研究博物館）

■ 企画制作

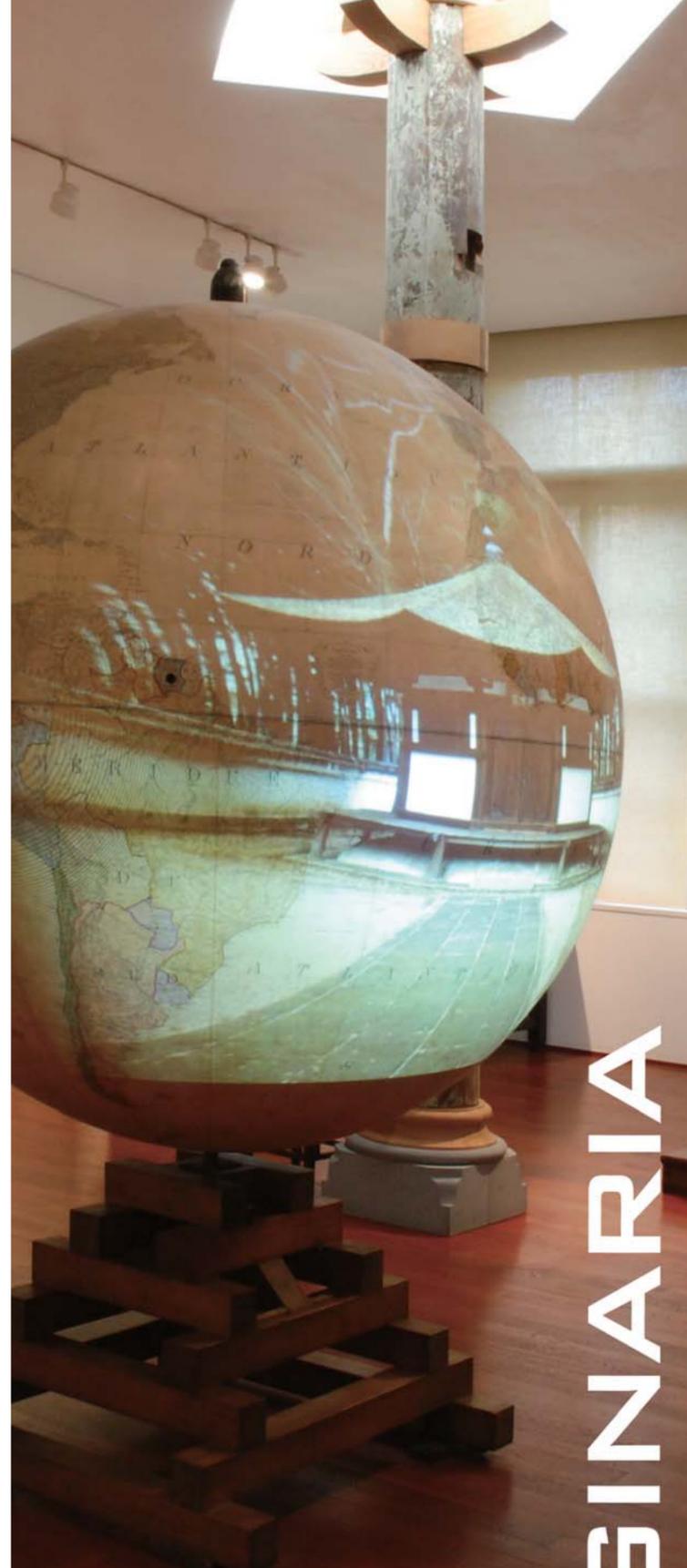
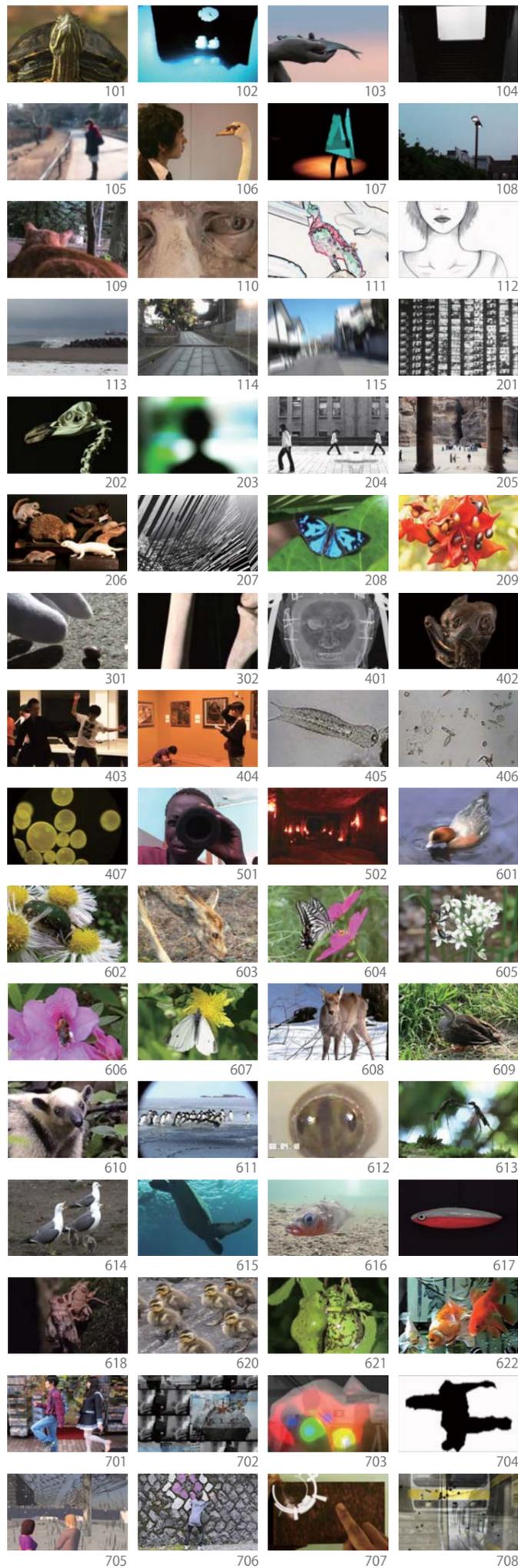
スーパーバイザ：西野嘉章（東京大学総合研究博物館館長）、
企画構成：松本文夫、映像協力：東京大学総合研究博物館教員、
制作協力：上野恵理子、博物館工芸ゼミ、建築ゼミ、分館ボランティア

■ 展示協力

東京大学大学院理学系研究科附属植物園、東京国立博物館、世田谷美術館、
多摩六都科学館、大阪市立自然史博物館、日本動物行動学会、
動物行動の映像データベース

■ 特別協賛

エプソン販売株式会社



インターメディアテク・プレイベント
東京大学総合研究博物館小石川分館
2011年2月18日[金]ー2月27日[日]

映像生物学の実験室

■ 展示概要

IMAGINARIA —— 映像生物学の実験室

東京大学総合研究博物館の小石川分館は、本学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）の広大な緑地に臨む恵まれた場所に位置し、東京大学の研究教育で使われてきた様々な学術標本や研究器材を展示しています。重要文化財である施設建物および植物園の外部空間において、このたび映像を活用した実験展示を行います。研究者・学芸員・学生や映像作家らによって制作された様々な映像作品が、建築空間の各所に埋め込まれます。IMAGINARIA とは、実在物と映像が共存する「イメージの融合空間」であり、博物表現と時空間造形の可能性を探索する実験室が出現します。

■ 主催、会場

主催： 東京大学総合研究博物館
会場： 東京大学総合研究博物館小石川分館
東京都文京区白山3-7-1
(地下鉄丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩8分)

■ 開催日程等

開催期間： 2月18日[金]ー2月27日[日]
休館日： 2月21日[月]および22日[火]
開館時間： 13時ー19時30分（入館は19時まで）
入場無料、外部映像投影は17時30ー19時30分

■ 展示内容

東京大学総合研究博物館の研究/教育活動の一環として学術標本・展示空間・イベントなどを撮影した映像作品、学外の博物館・美術館から提供された映像作品、映像作家が制作した映像作品等を小石川分館で上映する。重要文化財の施設空間および既存展示「驚異の部屋」の雰囲気を活かしつつ、施設の内部空間および植物園の外部空間で映像投影を行う。期間中はさまざまなイベントを並行開催する。

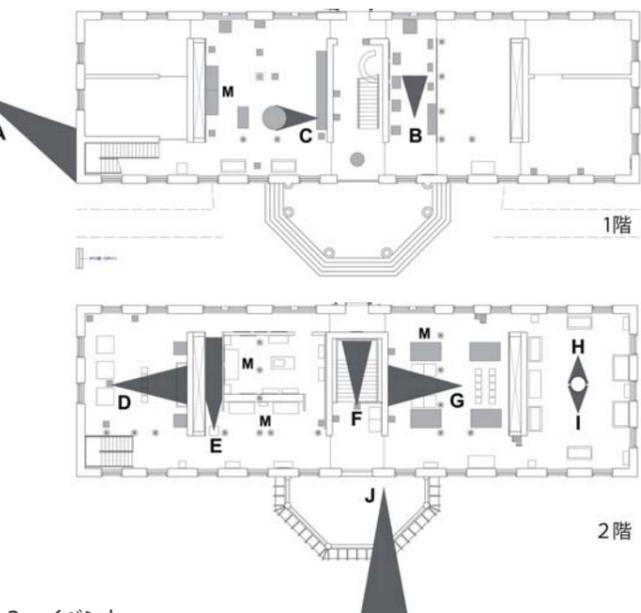


1. 上映作品

- 1) 博物館工学ゼミの映像作品（101－115 / 上映場所 F）
東京大学総合研究博物館の西野嘉章館長 / 教授による通年授業「博物館工学ゼミ」の映像班の学生が制作した映像作品。担当教員：松本文夫。
2) 東京大学教員の映像作品（201－209 / 上映場所 Gほか）
東京大学総合研究博物館ならびに大学院理学系研究科附属植物園の教員による映像作品。総合研究博物館の西野館長の作品は学生時代のもの。
3) 学芸員専修コースの映像作品（301・302 / 上映場所 D）
東京大学総合研究博物館が実施した 2010 年度学芸員専修コースにおいて、受講者らが「映像博物学」をテーマに制作した課題作品。担当教員：松本文夫。
4) 他の博物館・美術館から提供された映像作品（401－407 / 上映場所 D）
東京国立博物館より文化財の臨床保存および 3 次元計測に関する映像を、世田谷美術館より身体表現ワークショップ「誰もいない美術館で」の映像を、多摩六都科学館よりプランクトンの映像を提供していただいた。
5) 映像作家の映像作品（501 / 上映場所 D、502 / 上映場所 M）
映像人類学者・川瀬慈氏の映像作品、東京国立博物館の原田明夫氏の映像作品。
6) 日本動物行動学会の映像作品（601－622 / 上映場所 E・M・J）
日本動物行動学会の研究者らが運営する「動物行動の映像データベース」に登録された動物行動の映像の中から 21 作品を紹介。http://www.momo-p.com/
7) Tokyo Focus の映像作品（701－708 / 上映場所 B）
南カリフォルニア建築大、法政大、慶應大、東京大の学生によるワークショップ Tokyo Focus の映像作品。担当教員：John Bohn、渡辺真理、脇田玲、松本文夫。

2. 上映場所

A: 小石川分館外壁、
B: 1 階北展示室、
C: 1 階南展示室、
D: 2 階解剖学の部屋、
E: 2 階廊下、
F: 中央階段、
G: 2 階標本展示室、
H / I: 2 階最奥展示室、
J: 小石川植物園、
M: 展示室各所（超小型プロジェクト）



3. イベント

- 2月18日 [金]** 17:30 オープニング・セレモニー：映像上映、主催者挨拶
18:30 オープニング・ダイアログ「映像・記憶・表現——20年の空白のあとに」：西嶋憲生（映像評論家）× 西野嘉章（東京大学総合研究博物館館長） (-19:30)
2月19日 [土] 16:00 プレビュー（解説付作品連続上映、-17:00）
18:00 プロジェクション・ウォーク（小型投影機歩行体験、-19:00）
2月20日 [日] 16:00 プレビュー（解説付全作品連続上映、-17:00）
18:00 ディスカッション「映像博物学」：博物館・美術館の学芸員による発表討論。パネラー：井口芳夫、杵沢博行、塚田美紀、祖敷彩、宇野淳子、秋山和彦、原田明夫、井波吉太郎、上野恵理子。司会：松本文夫（-19:30）
2月23日 [水] 18:00 セミナー「シネマ断片にみる映像の創造手法Ⅰ」（-19:30）
2月24日 [木] 18:00 プロジェクション・ウォーク（小型投影機歩行体験、-19:00）
2月25日 [金] 16:00 プレビュー（解説付全作品連続上映、-17:00）
18:00 セミナー「映像博物学の挑戦」（-19:30）
2月26日 [土] 16:00 プレビュー（解説付全作品連続上映、-17:00）
18:00 プロジェクション・ウォーク（小型投影機歩行体験、-19:00）
2月27日 [日] 14:00 セミナー「シネマ断片にみる映像の創造手法Ⅱ」（-15:30）
16:00 プレビュー（解説付全作品連続上映、-17:00）18:00 クロージング・イベント

作品データ

作品番号、①作品名称、②作者、③提供機関、④長さ、⑤制作年、⑥概要、⑦上映場所

■ 博物館工学ゼミの映像作品

101 ①池 ②太田泉フロランス ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:24 ⑤2009 ⑥普段学生生活を送っている本郷キャンパスを自然という切り口で見つめ、博物学的興味をもって捉えた作品。 ⑦F/H

102 ①私ゝn ②大川祐矢 ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:53 ⑤2009 ⑥安田講堂の映像を 20 回にわたり撮り重ねる視覚表現の実験。 ⑦F

103 ①鯨 ②田中ゆり ③東京大学総合研究博物館 ④0:06:07 ⑤2009 ⑥空と水、人と鯨の、僅かな境界。現実と非現実が共存する世界で生きる人間のひとつの行為と、ひとつの決断。 ⑦F

104 ①あるいはそこにあるもの ②大川祐矢 ③東京大学総合研究博物館 ④0:05:12 ⑤2009 ⑥其処に見るるは現の骸、狂へる悪鬼は骸を貪り、刹那の夢幻に身をば委ねる。 ⑦F

105 ①Crooked ②大川祐矢、太田泉フロランス、田川裕貴 ③東京大学総合研究博物館 ④0:09:13 ⑤2010 ⑥同一の映像に対し、異なる言語表現を与えたとき、どのような効果を得るか。ある男の行動の映像記憶とその解析。 ⑦F

106 ①MORITA ②田中ゆり ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:42 ⑤2010 ⑥午後 2 時の博物館。標本やガラスとの対峙から生まれる、ゆるやかな時間。MORITA が語る、博物館の時空間。 ⑦F/A/I

107 ①fab ショー ②田中絵美 ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:17 ⑤2010 ⑥小石川分館で行われた東京大学 fab＋博物館工学ゼミによるファッションショー「MOV[E]MENT」の記録。 ⑦F

108 ①覚えること、思い出すこと、忘れること ②高野涉 ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:48 ⑤2010 ⑥場所を記憶して、その記憶を想起し、そして忘却に至るまでの過程を、視覚イメージを使って表現。 ⑦F

109 ①The Kingdom of Cats in The Rain Forest ②宮川麻紀 ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:46 ⑤2010 ⑥本郷キャンパスは人間のものなのか？ 麴菌としたジャンглの支配者は、獅猛な猫たち。 ⑦F

110 ①場所の記録 ②高野涉 ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:58 ⑤2011 ⑥小石川分館 Fantasma 展の記録。芸術作品と日常品がほどよく混在している小石川分館の薄気味悪い感じを伝えたい。 ⑦F/A/H

111 ①A Drawing of Objects—Artifact and Art ②横山キャサディさくら ③東京大学総合研究博物館 ④0:05:43 ⑤2011 ⑥小石川分館 Fantasma 展の記録、作品や標本をアウトライン化し、現実とは異なる空間表象に転換。 ⑦F/A/I

112 ①Lent Et Douloureaux ②塩川幸 ③東京大学総合研究博物館 ④0:03:39 ⑤2011 ⑥二人の無声会話を白地に描いて曲の生み出す流れにのせることで、対話の潜在する空気を表現。 ⑦F/A

113 ①ふさぐ ②高野涉 ③東京大学総合研究博物館 ④0:06:14 ⑤2011 ⑥年末年始の富山帰省が素材。居心地の悪い空間が多く、閉塞感と息苦しさだけだった。 ⑦F

114 ①tokyo ②宮川麻紀 ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:05 ⑤2011 ⑥時空を超えて、空間を超えて。行ったり、来たり、トーキョー。 ⑦F

115 ①ランニング ②横山キャサディさくら ③東京大学総合研究博物館 ④0:11:01 ⑤2011 ⑥走る、走る。全編手持ちカメラで昼夜の都市を疾走。⑦F/H

■ 東京大学教員の映像作品

201 ①喪失された<君>もしくは<あなた>を探していく旅は ②西野嘉章 ③東京大学総合研究博物館 ④0:20:52 ⑤1972 ⑥総合研究博物館の西野嘉章館長が、1972 年に西嶋憲生氏と共同制作した実験映画。 ⑦G

202 ①musescape ②松本文夫 ③東京大学総合研究博物館 ④0:07:55 ⑤2011 ⑥総合研究博物館の学術標本の映像博物誌。存在物のフォルムやテクスチャの驚異をゆるやかな時間変移の中から引き出す。 ⑦G/A/J/I

203 ①defocused ②松本文夫 ③東京大学総合研究博物館 ④0:05:53 ⑤2009 ⑥意図的にピントを外したカメラで日常空間を撮影し、オブジェクトが空間に溶解しかけた光景をとらえる。 ⑦G/A/J/I

204 ①On the way ②松本文夫 ③東京大学総合研究博物館 ④0:05:36 ⑤2009 ⑥キャンパスを行き交う人々を側面から定点撮影し、その通行の時空間を重ね合わせる。 ⑦G/A/J/I

205 ①世界建築紀行（写真）②松本文夫 ③東京大学総合研究博物館 ⑤1997 ⑥世界各地の建築都市の連続写真。 ⑦C/J/H/I

206 ①学術標本集成（写真）②松本文夫 ③東京大学総合研究博物館 ⑤2006-2011 ⑥総合研究博物館が収蔵するさまざまな学術標本の連続写真。 ⑦J/I

207 ①GINGA ②松本文夫、松川昌平、倉持正之 ④0:13:12 ⑤1999 ⑥WorldWideWeb の目に見えない情報世界の構造を空間的に視覚化 ⑦G/H

208 ①熱帯に棲む生きた宝石たち ②矢後勝也 ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:00 ⑤2011 ⑥生物多様性保全が目目される今、その中心である熱帯原生林は開発や伐採で急速に失われつつある。そのような消えゆく南ベトナム熱帯林で撮影された、生きた宝石ともいえる貴重な昆虫の生き様を紹介する。 ⑦M/J/H

209 ①花園残像 ②邑田仁 ③東京大学大学院理学系研究科附属植物園 ④0:03:34 ⑤2011 ⑥草木は夢をみるのだろうか？ 御薬園 3 0 0 年の時は流れ、今日の昼間の騒がしい来訪者も、遠い夏の熱気も、今は池に張る氷のように、薄片として漂うのみだ。 ⑦G/M/J

■ 学芸員専修コースの映像作品

301 ①GATHER ②井口芳夫、石田惣、上野恵理子、王輝鎧、杵沢博行、浜崎加織 ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:49 ⑤2010 ⑥道端のドングリが拾われ、整理分類され、展示物になるまでの過程。「タグ」がつくことで博物館の資料になるという原イメージ。 ⑦D

302 ①るつぽからこんにちは ②秋山和彦、井波吉太郎、宇野淳子、祖敷彩、塚田美紀、原田明夫、山下俊介 ③東京大学総合研究博物館 ④0:04:33 ⑤2010 ⑥博物館バックヤードの堆積と混沌の中から新たな標本が立ちあがる。多様な視覚要素を独自の手動編集により共同構成。 ⑦D

■ 他の博物館・美術館から提供された映像作品

401 ①保存・修理のスライド映像 ②③東京国立博物館 ④0:11:04 ⑤2006-2011 ⑥文化財の診断、予防、修理を一体的に捉えて組織で保存しようとする考えを、東京国立博物館保存修復課では、「臨床保存」と呼んでいる。資料や作品の一つ一つにカルテを作成し、未来のための保存と修理へ向けた記録を行う。また、その蓄積され続ける記録を活用し、現在の取り組みを伝えるものが、この映像資料である。博物館教育課が保存修復課と連携し、専門用語の解説や見やすい画像構成を心掛け編集した。 ⑦D

402 ①文化財の 3 次元計測を活用した映像コンテンツ ②③東京国立博物館 ④0:15:51 ⑤2011 ⑥東京国立博物館では、所蔵文化財の 3 次元計測を 2009 年度から行っている。この計測データから映像コンテンツを制作し、一般公開している。本展示映像は、小石川植物園の景観から発想した「森・喜怒哀楽」をテーマとして、現在公開されているものの中から 6 点を選定し、再編集した文化財映像コンテンツである。3 次元計測を活用した文化財の野外投影としては、初の試みである。 ⑦G/A/J/I

403 ①うたっておどるびじゅつかん ②③世田谷美術館 ④0:16:22 ⑤2009 ⑥世田谷美術館の身体表現ワークショップ・シリーズ「誰もいない美術館で」の記録。環境彫刻家ダニ・カラヴァンの展覧会を素材に、参加者がダンスをつくり閉館後の美術館で発表した「風景がダンスを・・・」を収録。 ⑦D

404 ①美術館と出会う、それから？ ②③世田谷美術館 ④0:31:50 ⑤2010 ⑥世田谷美術館の身体表現ワークショップ・シリーズ「誰もいない美術館で」の記録。様々な展覧会を素材に、参加者がダンス、音楽、詩、演劇などをつくり閉館後の美術館で発表した 4 つのワークショップを収録。⑦D

405 ①プランクトン・ビデオ 38 ②小田部家邦 ③多摩六都科学館 ④0:22:49 ⑥プランクトンウォッチャー小田部家邦氏によるプランクトンの映像。⑦M/A/J/H

406 ①プランクトン・ビデオ 47 ②小田部家邦 ③多摩六都科学館 ④2:01:00 ⑥プランクトンウォッチャー小田部家邦氏によるプランクトンの映像。 ⑦M/E

407 ①プランクトン・クリップ ②③多摩六都科学館 ⑥ミジンコ、ワムシ、ボルボックス、オカメゾウリムシ等の映像 ⑦M/E

■ 映像作家の映像作品

501 ①Room11, Ethiopia Hotel ②川瀬慈 ④0:23:39 ⑤2007 ⑥エチオピア・ゴンダールで路上生活をおくる 2 人の少年と映像作家のコミュニケーション ⑦D
502 ①Passage ②原田明夫 ④00:03:09 ⑤2011 ⑥棚の中を石切場の坑道に見立てて再現した映像作品。坑道が掘られた頃に使用された松脂の炎が、棚の中を灯し続ける。 ⑦M

■ 日本動物行動学会の映像作品

601 ①花びらを食べるヒドリガモ ②松丸一郎 ③動物行動の映像データベース ④0:00:35 ⑤2008 ⑥水面に浮かんだソメイヨシノの花弁を食べる。 ⑦M/E/J

602 ①花粉を食べるコアオハナムグリ ②鍋木友紀恵 ③動物行動の映像データベース ④0:00:34 ⑤2008 ⑥コアオハナムグリが白い花の花粉を食べる。⑦M
603 ①スゲ属を食べるシカ ②關義和 ③動物行動の映像データベース ④0:01:27 ⑤2007 ⑥奥日光のシカがスゲ属を食べる。 ⑦M

604 ①アゲハチョウの吸蜜 ②鍋木友紀恵 ③動物行動の映像データベース ④0:00:11 ⑤2007 ⑥アゲハチョウ（ナミアゲハ）の吸蜜行動。 ⑦M/E/J

605 ①ジガバチの採蜜 ②鍋木友紀恵 ③動物行動の映像データベース ④0:00:13 ⑤2007 ⑥ジガバチがニラの花で採蜜している。 ⑦M/E/J

606 ①ツツジにやってきたトラマルハナバチ ②鍋木友紀恵 ③動物行動の映像データベース ④0:00:16 ⑤2007 ⑥創始女王と思われる。 ⑦M/E/J

607 ①モンシロチョウの吸蜜 ②鍋木友紀恵 ③動物行動の映像データベース ④0:00:11 ⑤2007 ⑥モンシロチョウの吸蜜行動。 ⑦M/E/J

608 ①落ちた枝を食べるシカ ②關義和 ③動物行動の映像データベース ④0:01:35 ⑤2007 ⑥奥日光のシカがミズナラの枝先を食べる。 ⑦M/E/J

609 ①カルガモの採餌 ②鍋木友紀恵 ③動物行動の映像データベース ④0:00:16 ⑤2007 ⑥カルガモが川岸に生えている草を食べる。 ⑦M

610 ①コアリクイの採餌 ②小汐千春 ③動物行動の映像データベース ④0:01:11 ⑤1996 ⑥パナマ共和国におけるコアリクイの採餌行動。 ⑦M

611 ①アデリーペンギンの同調潜水 ②佐藤克文 ③動物行動の映像データベース ④0:00:42 ⑤1999 ⑥南極の海を覆う定着氷に開いた穴より、集団で同調しつつ潜水行動を繰り返すアデリーペンギン。 ⑦M

612 ①チャバネアオカメムシのふ化 ②高木一夫 ③動物行動の映像データベース ④0:00:32 ⑤1999 ⑥カメムシ類は卵から幼虫がふ化するときに、卵破砕器 (Egg Burstor) という特長のある器官を使って卵の蓋を開ける。 ⑦M/E/J

613 ①マエジロアシナガヤセバエのケンカディスプレイ ②大八木昭 ③動物行動の映像データベース ④0:03:29 ⑤2003 ⑥オスどうしのケンカディスプレイ。体の大きさや前脚のひろがり具合が勝敗を決する。 ⑦M/E/J

614 ①カモメの長鳴き ②柴田佳秀、佐久間文男、MOMO 委員会 ③動物行動の映像データベース ④0:00:19 ⑤2006 ⑥カモメ類の「長鳴き」はさまざまな文脈で行われ、ここでは、侵入者への攻撃の後にペアで行われている。 ⑦M

615 ①ゆっくり泳ぐアオウミガメ ②酒井麻衣 ③動物行動の映像データベース ④0:01:01 ⑤2002 ⑥東京都御蔵島の海で泳ぐアオウミガメ。 ⑦M/E/J

616 ①婚姻色が現れたイトヨの雄 ②政田智啓・石田惣・佐藤ミチコ・安曾潤子・定政美喜子 ③イトヨの教材映像撮影プロジェクト ④0:00:10 ⑤2005 ⑥繁殖期になると、口先から鰓蓋および腹面までが赤色に、体側部が青色になる。⑦M

617 ①イトヨの闘争行動を解発する鍵刺激 ②政田智啓・石田惣・佐藤ミチコ・安曾潤子・定政美喜子 ③イトヨの教材映像撮影プロジェクト ④0:01:25 ⑤2005 ⑥繁殖期に入ったイトヨのオスの闘争行動の実験。 ⑦M

618 ①ニイニゼミの羽化 ②西浩孝 ③動物行動の映像データベース ④0:01:22 ⑤2010 ⑥ニイニゼミの羽化を 30 倍速にして描写。 ⑦M/E/J

620 ①親鳥を追いかけるカルガモのヒナ ②鍋木友紀恵 ③動物行動の映像データベース ④0:00:33 ⑤2009 ⑥親鳥について歩くヒナたちの行動。 ⑦M/E/J

621 ①モリアオガエルの産卵 ②笹邊幸人 ③動物行動の映像データベース ④0:03:31 ⑤2009 ⑥大阪府北部で見られるモリアオガエルの産卵の様子。⑦M/E/J

622 ①「ビー玉転がし」遊びをする金魚 ②Schochi ③動物行動の映像データベース ④0:00:32 ⑤2008 ⑥四歳魚（メス、キャリコ）の遊び。 ⑦M/E/J

■ Tokyo Focus の映像作品

701 ①Intermedia Akihabara ②Bijan Haghnegahdar, Jason Tucker, Ryuichi Wada, Kohei Tsuji, Satoko Nakamura ③南カリフォルニア建築大学、法政大学、慶應大学、東京大学（以下 4 大学） ④0:05:05 ⑤2010 ⑥秋葉原の街中を歩き続ける男女を通して、現実とバーチャル世界の共存・交錯をとらえる。 ⑦B/I

702 ①Hongo Pixel ②Manuel Oh, Michael Piscitello, Naoya Mukoyama, Yumi Tanaka, Akiko Negishi ③4 大学 ④0:04:55 ⑤2010 ⑥本郷の住宅地に、歩行者に反応するインタラクティブなピクセル型ビルボードを想定。 ⑦B

703 ①MA ②Michel Nesbit, Carmella Chiang, Mitsuteru Ando, Shozo Totsuka, Maya Ishiwata ③4 大学 ④0:02:21 ⑤2010 ⑥身体を囲む見えない「バブル」に身体感覚を表象し、他者とのコミュニケーションを可視化。 ⑦B

704 ①Identity Line ②Douglas Leung, Nathan Meyers, Anna Takahashi, Kenta Fukui, Ryo Miyawaki ③4 大学 ④0:03:00 ⑤2010 ⑥丸の内のオフィス街を対象に、「線」によって地域の歴史背景と都市輪郭を抽出。 ⑦B

705 ①Time Bridge ②Brian Pace, Jeffrey Kuruvilla, Fumito Horaguchi, Akito Nakano, Nanami Kawashima ③4 大学 ④0:02:18 ⑤2010 ⑥日本橋の歴史的インフラとプログラマブル・マターの共存による「時間の橋」を構想。 ⑦B/H

706 ①W-Divergence ②Jeffrey Lam, Joshua Smith, Shinichiro Nameki, Yui Kaneko, Doko Hirano ③4 大学 ④0:03:47 ⑤2010 ⑥渋谷住宅地の三差路、3 つ方向に同時に進めるとしたら？分身による相互インタラクション。 ⑦B/H

707 ①Adaptive Reality ②Timothy Cheng, Ken letaro, Ako, Yushi, Marie Shuto ③4 大学 ④0:02:00 ⑤2010 ⑥横浜湾港地区を対象に、歴史情報を都市のさまざまな場面に埋め込み取り出し可能にする。 ⑦B

708 ①Yotsuya Still ②Chloe Brunner, Micheal He, Kumiko Morikawa, Akiya Ikeda, Tatsuro Kurawaki ③4 大学 ④0:05:04 ⑤2010 ⑥通過ポイントとしての四ツ谷の列車、群衆、パーティクルの動きを通して、静寂を表現。 ⑦B/A/I